

第6章 地域づくり・環境整備

地域づくり・環境整備

【目標】

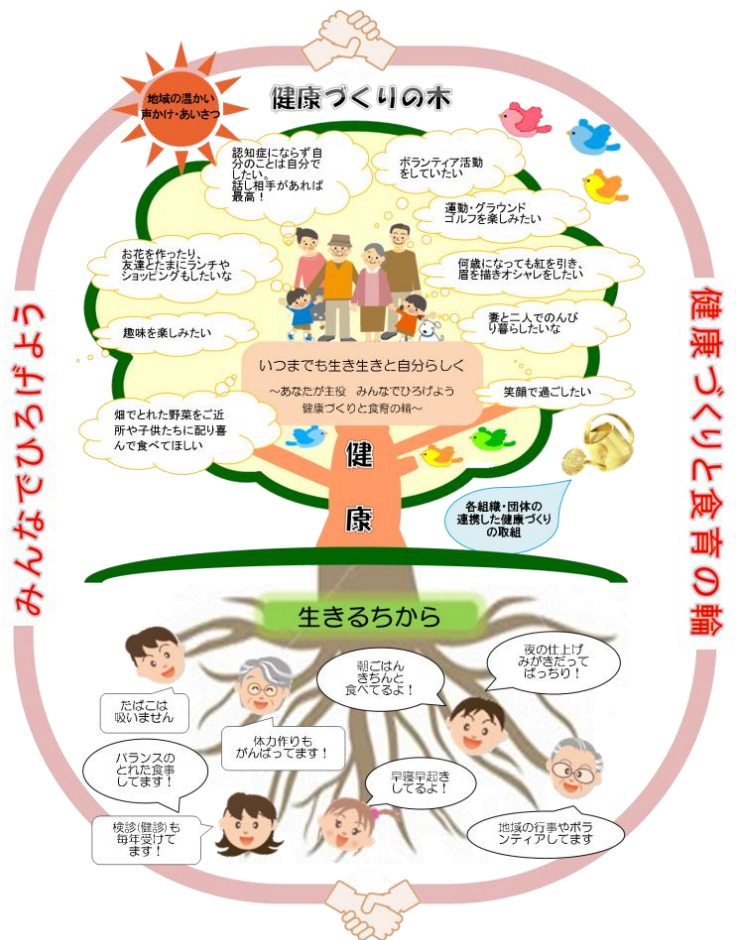
人と人とのつながりを深め、
健康づくり・食育の輪をひろげよう

地域における人々の信頼や結びつきが強いことは健康によい影響を与えるといわれています。市の健康づくりに関するアンケート結果でも、「地域活動に参加している」、「地域の人が信頼できる」、「地域でお互いにあいさつをしている」と思っている人ほど、健康状態が良いと感じているという結果がみられました。

健康づくり・食育をすすめていくには、個々の健康づくりはもちろんのこと、支えあいや見守りなど日常生活における相互扶助の助け合いの体制づくりが必要です。また、多様な組織、団体、職域等がそれぞれの役割を明確にしながらかつた連携することで新たなつながりができ、それぞれの地域性にあつた活動をすることで絆が深まり、地域住民の健康増進につながります。

また、地域で取組をすすめるには、ボランティア等の様々な人材を必要とします。人材育成は地域づくりの大きな柱ともいえることから、多様な人材を確保してつなげていくことが、健康づくり・食育の輪を広げる大きな力となります。

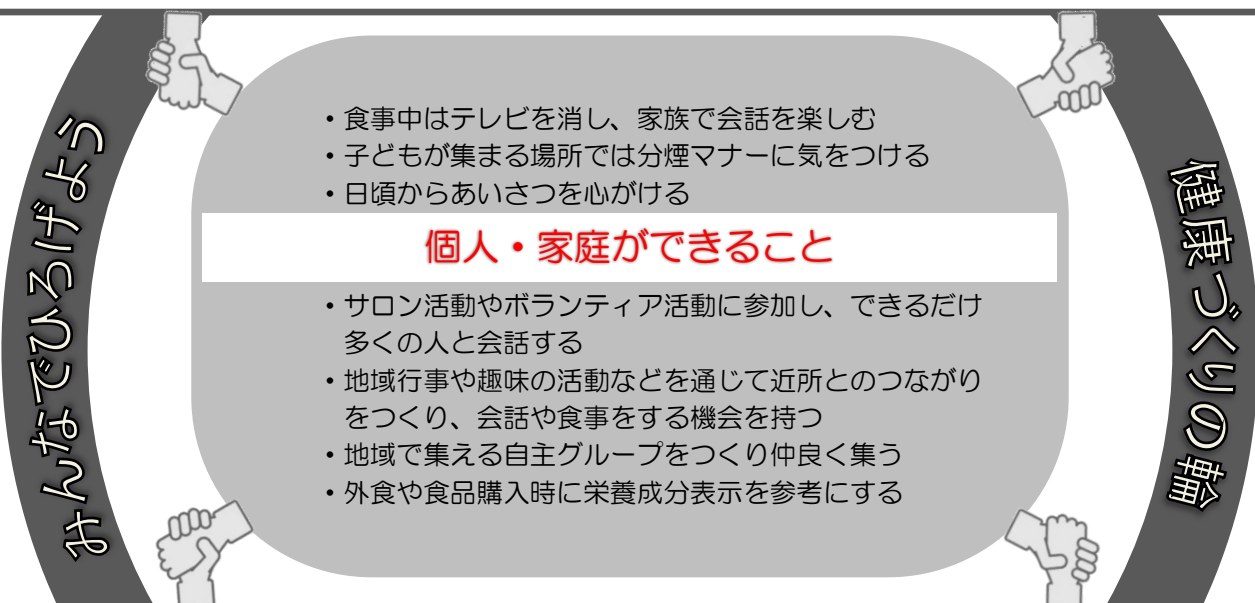
備前市の健康づくり・食育推進のイメージ図にあるように、地域の温かい声かけやあいさつが太陽のように降りそそぎ、市民の健康を守るための各組織・団体による連携した働きかけが栄養たっぷりの水となり、市民の主体的な取組が増え、さらに健康づくりの木の根が絡み合い大きく育ち、結果的に「いつまでも生き生きと自分らしく」過ごしたいという市民の願いを実現することにつながります。さらに、個人での健康づくりに加え、家庭、学校、職場などで、次世代から高齢期まで多様な年齢層による支え合いやつながりを広げることで、住み慣れた地域で健康に生き生きと生活できる地域となります。このように、個人の取組だけでなく、人と人とのつながりを重視し、市民の健康を支援する環境整備等に取り組み、いつまでも生き生きと過ごすことができる地域を目指します。



地域がつながり 地域みんなで支える健康づくり

地域が力を合わせてできること（地域・ボランティア・職域等）

- 地域の子どもたちや親子への声かけを地域ぐるみで取り組む
- 親子が孤立しないよう、子育てを見守る
- 地域の人と一緒に健康づくりについて学ぶ機会を増やす
- 親子で集う場で親世代へ禁煙の普及啓発をする。
- 職場の禁煙や分煙を進める
- 地域行事を企画し、近所の人が集まる機会をつくり世代を超えた交流を行う
- 地域の交流の場に誘い合って参加する
- 地域であいさつ、声かけをし、孤立しないように見守る
- 地域の中で活躍できる場をつくり、世代間で交流できるようにする
- 趣味や食を通じた仲間作りの場をつくり交流する
- 栄養士会が中心となり、市内の飲食店に働きかけ、メニューに栄養成分を表示する店を登録する取組を実施する

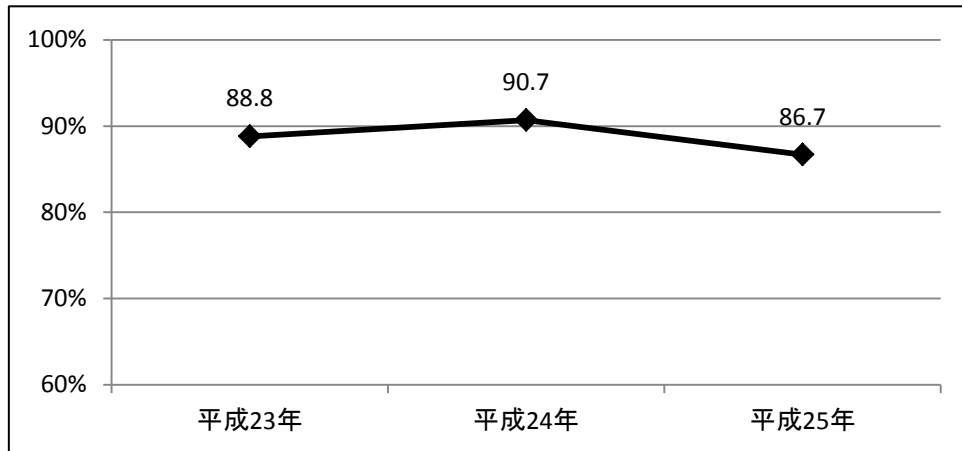


行政ができること

- 高齢者施設等で子どもと高齢者との交流の場をつくる
- 学校行事等での3世代交流を図る
- 地域で高齢者を支えるボランティアを育成し、サロンなど交流が図れる活動を支援する
- 「食」を通じて関係機関、団体と連携し、孤立を防ぐための仲間づくりと自立した日常生活が送れる地域づくりをめざす
- 愛育委員会、栄養委員会等の組織が連携し、地域の中で孤立しないよう、子育て中の親子の交流会を開催し、顔がみえる関係づくりをする
- 健康づくりを地域に普及させる健康づくりリーダーを養成する
- 地域の人とともに支え合う体制を整備し、さまざまな組織や団体と連携し、地域の人々のつながりを高め、できるだけ住み慣れた地域で暮らせるまちをめざす
- 市民が健康づくりや食育を実践しやすい環境を整えるため、地域団体や関係団体と共通認識を図りながら、連携体制の充実を図る
- 保健部門以外の都市整備部門、スポーツ推進部門、教育委員会、介護保険部門等と連携し、環境の整備をすすめる
- 市立病院や医師会、歯科医師会、栄養士会等と協力して疾病の重症化予防のための連携体制の整備をすすめる
- 健康づくりを主たる目的としていない既存団体にも、健康の視点からアプローチしていく
- 職域や医療機関、医療保険者等との連携を強化し、健診（検診）体制の整備やこころの健康づくり等をすすめる

データでみる地域づくり・環境整備の状況

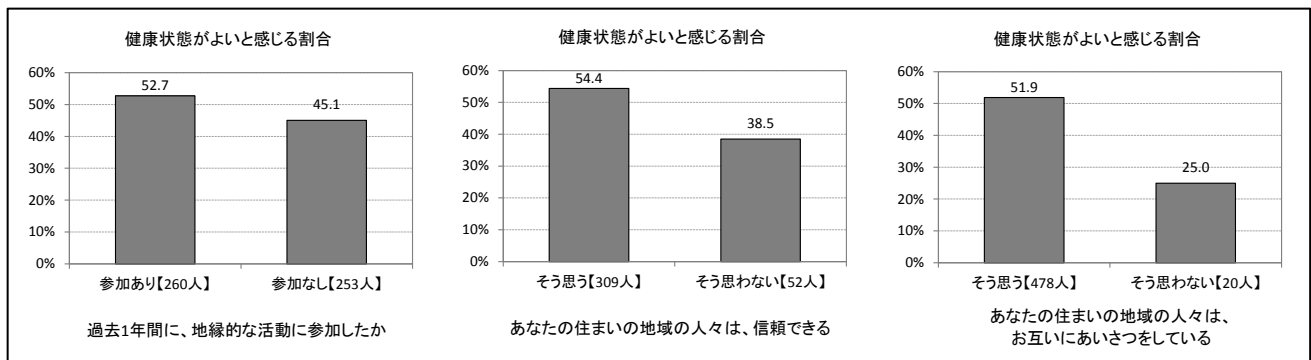
【図 6-1 自分の健康に気をつけている人の割合】



出典：備前市市民意識調査(平成 25 年度)

自分の健康に気をつけている人の割合は約 9 割である。

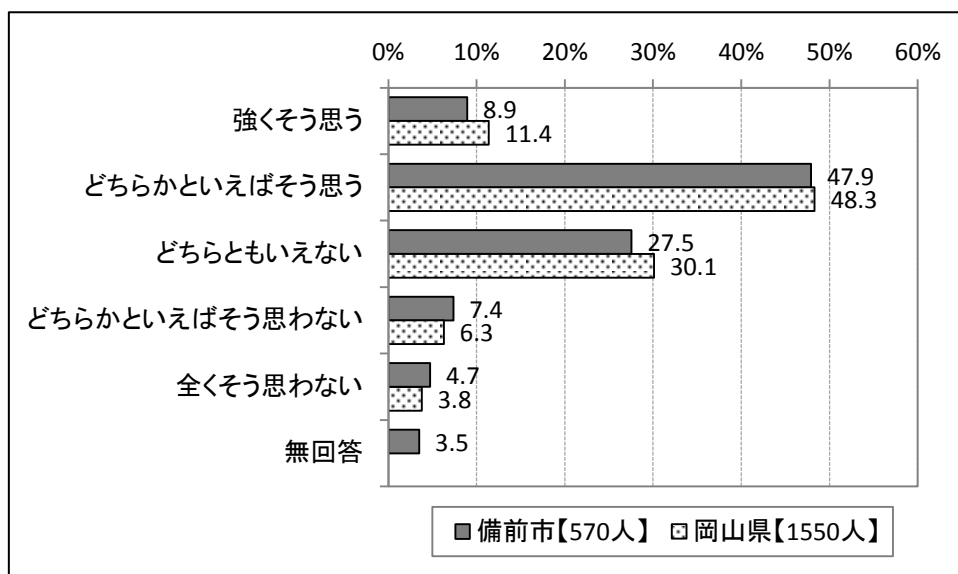
【図 6-2 主観的健康観とソーシャルキャピタルとの関連】



出典：健康づくりに関するアンケート(平成 25 年)

地域活動に参加している人、地域の人への信頼感が高い人、地域の人とお互いにあいさつをしていると思う人のほうが、健康状態がよいと感じる割合が高い。

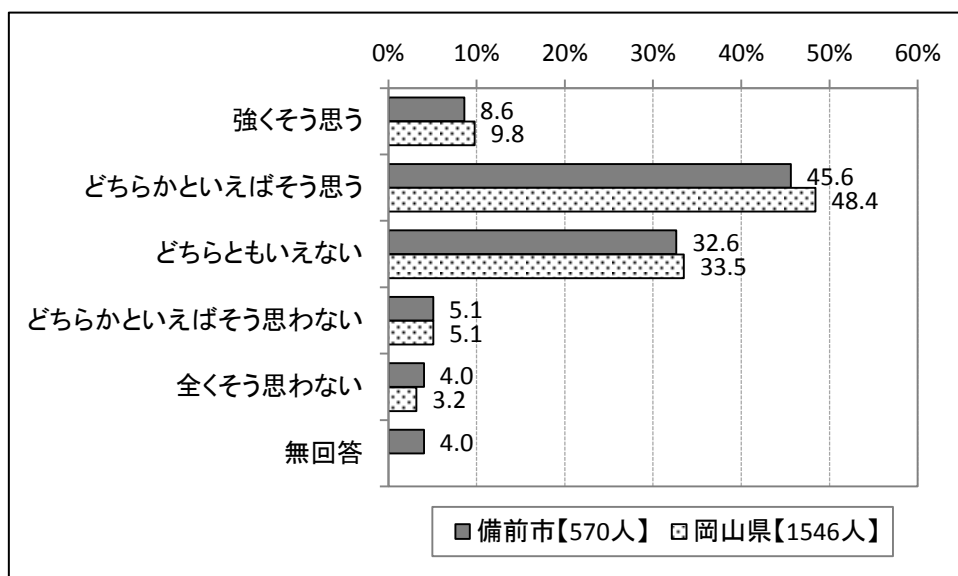
【図 6-3 お互いに助け合っている地域だと思う人の割合】



出典：健康づくりに関するアンケート(平成 25 年度)、平成 23 年県民健康調査(第 2 次健康おかやま 21)

「強くそう思う」は岡山県と比べてやや低い。

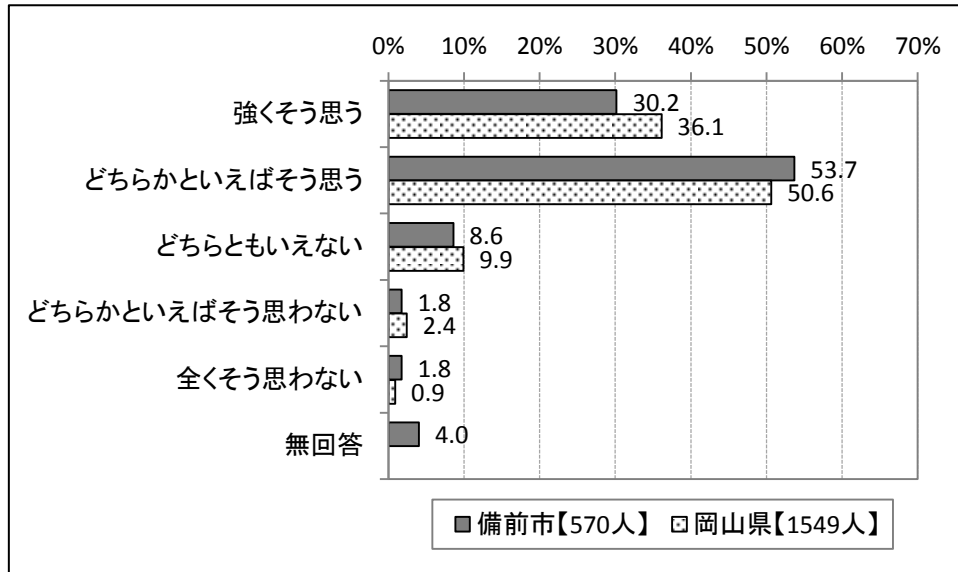
【図 6-4 信頼できる地域だと思う人の割合】



出典：健康づくりに関するアンケート(平成 25 年度)、平成 23 年県民健康調査(第 2 次健康おかやま 21)

「強くそう思う」「どちらかといえばそう思う」は岡山県と比べてやや低い。

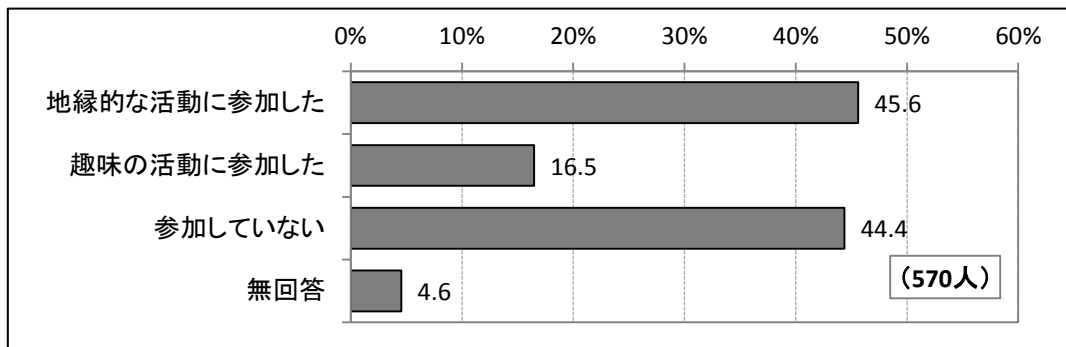
【図 6-5 お互いにあいさつをしていると思う人の割合】



出典：健康づくりに関するアンケート（平成 25 年度）、平成 23 年県民健康調査（第 2 次健康おかやま 21）

「強くそう思う」は岡山県と比べて低い。

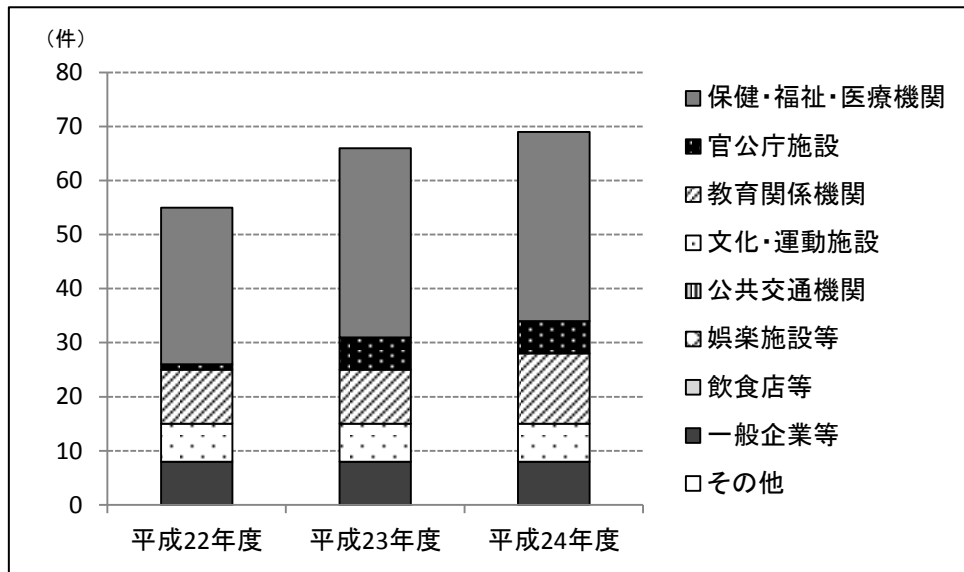
【図 6-6 地域の活動に参加している人の割合】



出典：健康づくりに関するアンケート（平成 25 年度）

地縁的な活動に参加した人の割合は約 4 割である。

【図 6-7 禁煙・完全分煙実施施設認定数】



出典：岡山県備前保健所東備支所集計（平成 24 年度）

禁煙・完全分煙実施施設認定数は年々増加している。

達成したい目標値

地域づくり・環境整備

～目標：人と人とのつながりを深め、健康づくり・食育の輪をひろげよう～

指 標	目標値 (H35年度)	現状値	出典
自分の健康に気をつけている人の増加	97%以上	86.7%	B
お互いに助け合っている地域だと思ふ人の増加	65%以上	56.8%	A
信頼できる地域だと思ふ人の増加	60%以上	54.2%	A
お互いにあいさつをしていると思ふ人の増加	90%以上	83.9%	A
地縁的活動に参加している人の増加	50%以上	45.6%	A
この1年間にボランティア活動に取り組んでいる人の増加	40%以上	35.9%	B
認知症サポーターの増加	4500人以上	1721人	D
介護予防ボランティアの増加	増加	47人	D
サロン(高齢者の集いの場)の増加	増加	58カ所	D
禁煙・完全分煙実施施設認定数の増加	80件	69件	C
栄養成分表示の店登録数の増加	30件以上	24件	C

A：備前市健康づくりに関するアンケート（平成25年度）

B：備前市市民意識調査（平成25年度）

C：岡山県備前保健所東備支所集計（平成24年度）

D：備前市地域包括支援センター資料